

EPSON

EMP Monitor操作ガイド

Offirio
オフィリオ プロジェクター

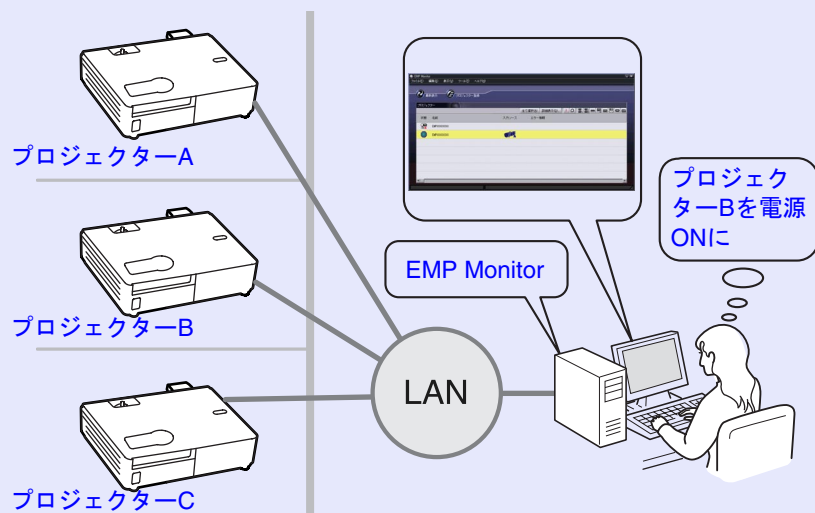
EMP-765





<u>EMP Monitorでできること</u>	2
動作環境.....	2
操作を始める前に.....	2
<u>監視するプロジェクターを登録する</u>	3
自動検出を使った登録.....	4
IPアドレスを使った登録(マニュアル登録).....	5
マニュアル登録したプロジェクターリストの編集.....	5
プロジェクターリストからの削除.....	5
<u>EMP Monitorメイン画面</u>	6
ボタンの働き.....	6
プロジェクターリストの見方.....	7
詳細情報の表示.....	8
<u>EMP Monitor でプロジェクターを制御・監視 できないとき</u>	9

ネットワーク上の複数のプロジェクターの状況をコンピュータのモニターに表示して確認したり、電源のオン/オフや入力ソースの切り替えなどを一括して操作したりできます。最大64台のプロジェクターを一括して監視・制御できます。



システム構成例

👍 ポイント

- プロジェクター本体の環境設定メニューで「拡張設定」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態（電源インジケータがオレンジ色に点灯している状態）でも、EMP Monitorを使った設定や制御ができます。
- EMP Monitorを使った管理機能は、無線LANの簡単接続モードでは使用できません。

動作環境

※ Macintoshには対応していません。

OS※	98SE/Me/NT4.0/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professional
CPU	PentiumMMX 166MHz以上 (Pentium II 233MHz以上を推奨)
メモリ容量	64MB以上(128MB以上を推奨)
ハードディスク 空き容量	6MB以上
ディスプレイ	XGA (1024×768)以上の解像度、16ビットカラー以上の表示色

操作を始める前に

EMP Monitor を起動する前に、次の点をご確認ください。

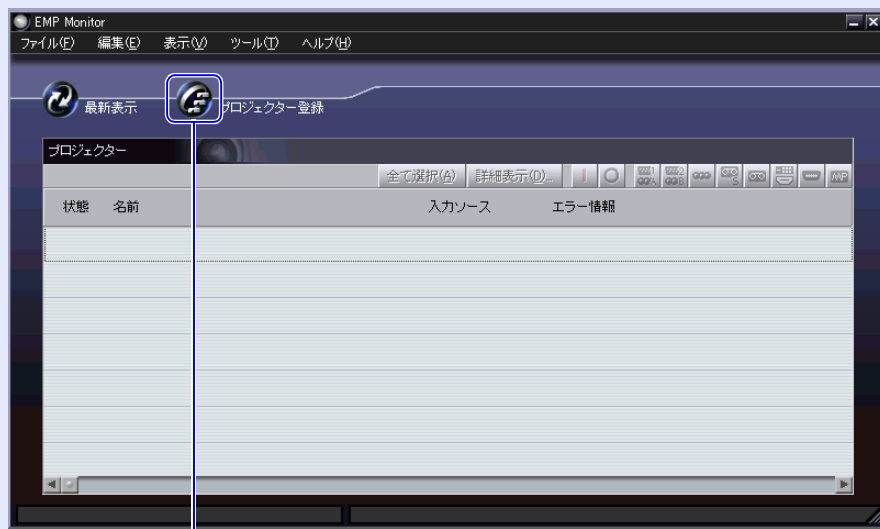
- 使用するコンピュータにEMP Monitorをインストールしておきます。
👉 『EasyMP ネットワーク設定ガイド』
「EasyMP Softwareのインストール」
- プロジェクターとコンピュータがアクセスポイントモードまたは有線LAN接続モードで接続できるように、ネットワーク設定をしておきます。
👉 『EasyMP ネットワーク設定ガイド』
「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
- Windows2000/NT4.0/XPを使っている場合は、管理者ユーザー (Admin) だけが起動できます。

EMP Monitorをインストール後、初めて起動したときや、プロジェクターを追加登録したいときに操作します。一度登録すれば、以降はEMP Monitorを起動するたびに、登録されているプロジェクターの状態が自動的に表示されます。

操作

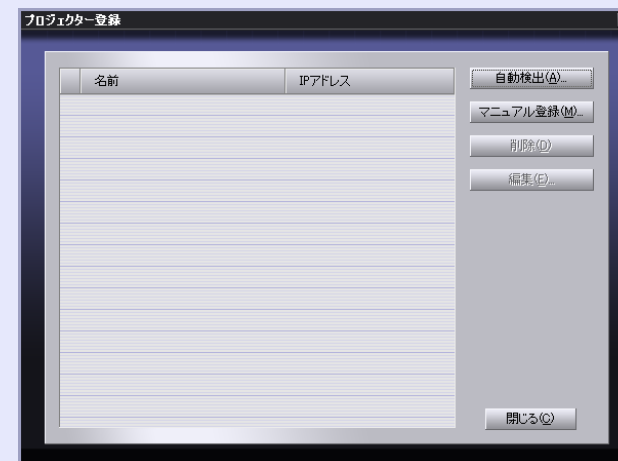
1 「スタート」→「プログラム」(または「すべてのプログラム」)→「EPSON Projector」→「EMP Monitor」の順にクリックして、EMP Monitorを起動します。

2 「プロジェクター登録」アイコンをクリックします。



クリックして監視するプロジェクターを追加します。

「プロジェクター登録」画面が表示されます。



「自動検出を使った登録」(☛ p.4)、または「IPアドレスを使った登録(マニュアル登録)」(☛ p.5) を操作して、プロジェクターを登録します。

自動検出を使った登録

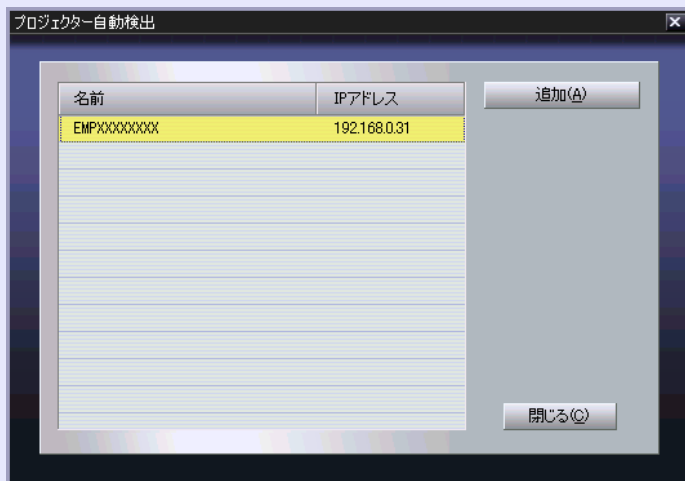
操作

1 「プロジェクター登録」画面で、「自動検出」ボタンをクリックします。

2 登録するプロジェクターを選択して「追加」ボタンをクリックします。

プロジェクターがリストに表示されないときは「IPアドレスを使った登録(マニュアル登録)」を行ってください。

☞ p.5



ポイント

- 自動検出を使って登録したプロジェクターは、EMP Monitorを起動するたびにプロジェクター名に従って再検出されます。
- パスワード入力画面が表示された場合は、プロジェクターの管理者ユーザー(Admin)のパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。
複数のプロジェクターを選択していた場合は、順番にパスワード入力画面が表示されます。

3

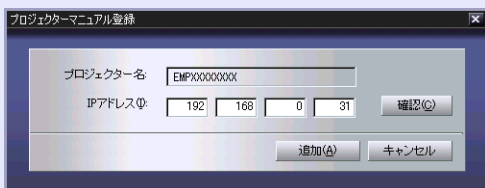
「閉じる」ボタンをクリックすると、EMP Monitorのメイン画面に戻ります。

メイン画面の使い方は、「EMP Monitorメイン画面」をご覧ください。☞ p.6

IPアドレスを使った登録(マニュアル登録)

操作

- 1 「プロジェクター登録」画面で、「マニュアル登録」ボタンをクリックします。
- 2 「IPアドレス」に、登録したいプロジェクターのIPアドレスを入力し、「確認」ボタンをクリックします。
ネットワーク上で、指定したIPアドレスのプロジェクターが見つかると、プロジェクター名が表示されますので、目的のプロジェクターであることを確認してください。違っていた場合は、IPアドレスを入力し直します。



- 3 「追加」ボタンをクリックします。



ポイント

パスワード入力画面が表示された場合は、プロジェクターの管理者ユーザー(Admin)のパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。

マニュアル登録したプロジェクターリストの編集

マニュアル登録をしたプロジェクターのプロジェクター名またはIPアドレスが変更になった場合は、以下の操作をします。

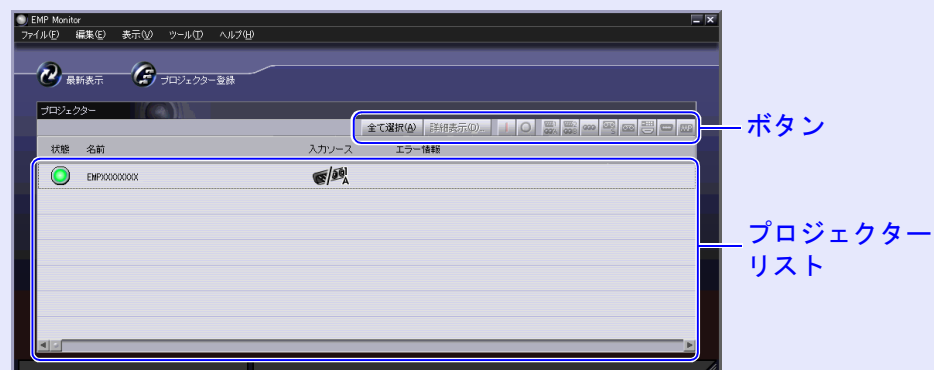
操作

- 1 「プロジェクター登録」画面で、編集したいプロジェクターを選択し、「編集」ボタンをクリックします。
- 2 プロジェクター名が変更になった場合は、そのまま「確認」ボタンをクリックします。
IPアドレスが変更になった場合は、新しいIPアドレスを入力して「確認」ボタンをクリックします。
正しいプロジェクター名になっていることを確認してください。
- 3 「更新」ボタンをクリックします。

プロジェクターリストからの削除

「プロジェクター登録」画面で、リストから削除するプロジェクターを選択し、「削除」ボタンをクリックします。
複数のプロジェクターを同時に選択できます。

メイン画面では、各プロジェクターの状態が表示されます。プロジェクターに対して操作を行うには、プロジェクターリストからプロジェクターを選択し、ボタンをクリックします。



終了するには、右上の をクリックします。

ボタンの働き

プロジェクターリストから選択したプロジェクターの電源をオンオフしたり、入力ソースを切り替えたりできます。「ツール」メニューからも同様の操作をすることができます。

「詳細表示」 ボタン	選択したプロジェクターの詳細情報を表示します。
電源ON	プロジェクターの電源をONにします。
電源OFF	プロジェクターの電源をOFFにします。
PC1、 InputA	[コンピュータ1]端子、[コンピュータ]端子、または[InputA]端子からの入力ソースに切り替えます。
PC2、 InputB	[コンピュータ2]端子、または[InputB]端子からの入力ソースに切り替えます。
BNC	[BNC]端子からの入力ソースに切り替えます。
S-Video	[S-Video]端子からの入力ソースに切り替えます。
Video	[Video]端子からの入力ソースに切り替えます。
D4	[D4]端子からの入力ソースに切り替えます。
DVI、 HDMI	[DVI]端子、または[HDMI]端子からの入力ソースに切り替えます。
EasyMP	EasyMP、あるいはEasyMP.netに切り替えます。



ポイント

接続しているプロジェクターによっては、装備されていない端子や機能があります。装備されていない端子や機能のボタンをクリックしても機能しません。



プロジェクターリストの見方

プロジェクターリストには、プロジェクターの状態が以下のアイコンで表示されています。

状態: プロジェクターの状態を示しています。

	電源ON異常なし
	電源OFF異常なし
	電源ON異常あり
	電源OFF異常あり
	ネットワークエラー(ネットワーク接続されていない、電源ケーブルが接続されていないなど)

名前: プロジェクター名が表示されています。

入力ソース: 選択している入力ソースが表示されます。

	コンピュータ1、コンピュータ、またはInputA
	コンピュータ2、またはInputB
	S-Video
	Video
	D4(デジタル)
	DVIまたはHDMI(デジタル)

エラー情報: プロジェクターに異常が生じた場合、その状態を以下のアイコンで示します。

	ランプ寿命警告	新しいランプと交換します。 ☛『取扱説明書』「消耗品の交換」の「ランプの交換方法」
	ランプ異常	「インジケータの見方」を参照して対処してください。 ☛『取扱説明書』「故障かなと思ったら」
	内部高温異常	
	温度警告	
	内部異常	
	ファン異常	
	温度センサ異常	

異常を検知したプロジェクターの情報は、EMP Monitorを終了するまで保持しています。対象となるプロジェクターの状態を改善してもEMP Monitorの表示は自動更新されません。メイン画面上の「最新表示」ボタンをクリックすると最新の状態に更新されます。

詳細情報の表示

接続している個々のプロジェクターの詳細な情報を確認できます。

操作

- 1 メイン画面で状態を表示したいプロジェクターを選択します。
- 2 「詳細表示」ボタンをクリックします。



クリックして
詳細表示
をします。

「詳細情報」画面に詳細な状態が表示されます。



接続しているプロジェクターにより、表示される内容が若干異なります。



確認	対処法
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	プロジェクターのネットワークの設定を確認してください。 ☛ 『EasyMP ネットワーク設定ガイド』 「アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する」
コンピュータにEMP Monitorが正しくインストールされていますか？	アンインストールしてから、再度インストールしてください。
制御・監視したいすべてのプロジェクターがプロジェクターリストに登録されていますか？	プロジェクターリストに登録してください。☛ p.3
環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	プロジェクターがスタンバイ状態のときもEMP Monitorで監視や制御をするには、プロジェクター本体の環境設定メニューの「拡張設定」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておきます。 ☛ 『取扱説明書』「 環境設定メニューの機能と操作 」



ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用するには、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMacは、Apple Computer Inc.の登録商標です。

Windows、WindowsNT、VGAは米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Cisco Systemsは米国その他の国におけるシスコシステムズ株式会社の登録商標です。

Pixelworks、DNXはPixelworks社の商標です。

EasyMPはセイコーエプソン株式会社の商標です。

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Portions Copyright©2003 Instant802 Networks Inc. All rights reserved.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。